

雲仙岳の火山活動 (16) *

— 1995年10月～1996年1月 —

Volcanic Activity of Unzendake Volcano (16)

— October 1995 — January 1996 —

雲仙岳測候所
気象庁火山課

Unzendake Weather Station, JMA
Volcanological Division, JMA

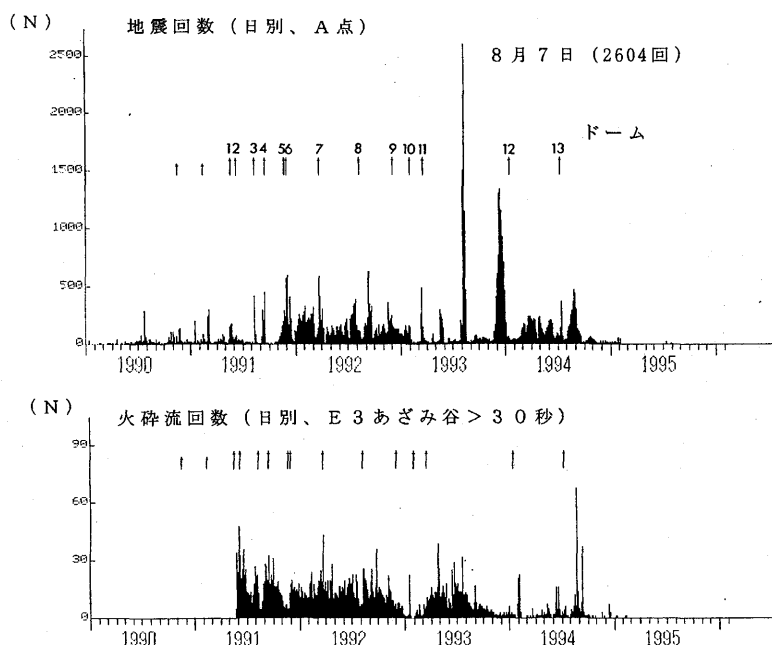
1. 火山活動概要

この期間も引き続き火砕流の発生もなく、地震活動も非常に低いレベルで推移し、測量観測によっても溶岩ドームにほとんど変化が見られないなど、火山活動は非常に穏やかに経過した。また、1995年2月から観測されていた傾斜変動を伴う火山性微動および火山性地震は8月29日を最後に発生していない。第1図に、1990年からの地震・火砕流回数の推移を示す。

2. 地震活動および火砕流

第2図に島原半島周辺の震源分布図を示す。この期間、周辺で特に目立った地震活動はみられなかった。また、雲仙岳山体を震源とする比較的浅い地震活動も引き続き非常に低いレベルで推移している。

火砕流は1995年2月11日を最後に発生していない。また、12月は溶岩の崩落による微動も0回だった。



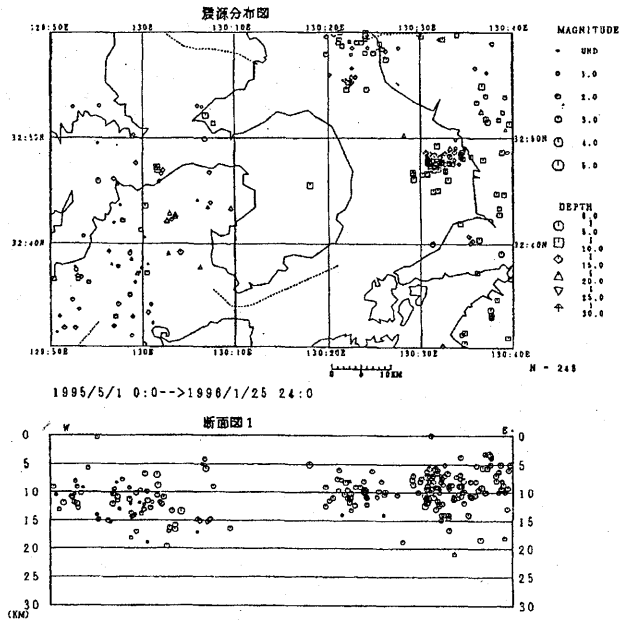
第1図 雲仙岳日別地震回数・火砕流震動回数 (1990年1月1日～1996年1月31日雲仙岳測候所)
上図：地震回数 (気象庁A地点地震計) 矢印は第1～13溶岩ドームの成長開始
下図：火砕流震動回数 (気象庁E3地点地震計で30秒以上の震動)

Fig.1 Daily frequency fo earthquake at Unzen-dake volcano and seismicity from pyroclastic flows, 1 January 1990-31 January 1996.

top: Daily frequency fo earthquake recorded by lava lobes 1 to 13.
Thirteen at top mark appearance of lava lobes 1 to 13.

bottom: Daily frequency fo pyroclastic seismicity counted.

* Received 15 Mar., 1996



第 2 図 島原半島周辺の地震活動 (1995年 5月 1日～1996年 1月25日)
 Fig. 2 Seismicity around Shimabara Peninsula (1 May 1995 ~ 25 January 1996)

3. 溶岩ドーム

雲仙岳測候所では遠望カメラ、機上観測、定点からの目視観測・写真撮影・セオドライト観測等により溶岩ドームの状況を観測している。

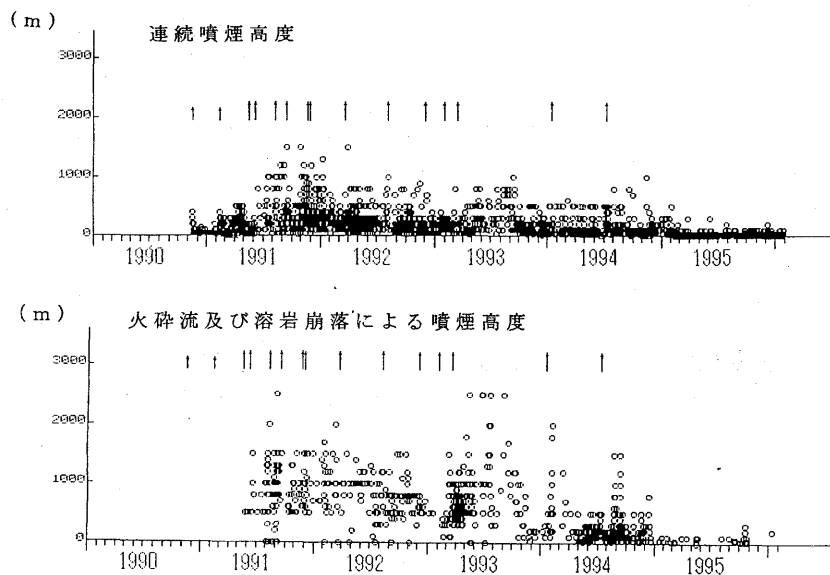
この期間各観測点からの稜線測量観測によると、溶岩ドームの形状にほとんど変化はなかった。

4. 傾斜変動を伴う火山性微動および火山性地震

1995年 2月16日から観測されていた傾斜変動を伴う火山性微動および火山性地震は 8月29日を最後に観測されていない。

5. 噴 煙

雲仙岳測候所では遠望カメラにより噴煙の観測を行っている。溶岩ドーム頂上付近からの噴煙は少量で高さも低めに推移し、溶岩の崩落による噴煙も低めに推移した (第 3 図)。



第 3 図 噴煙高度 (1990年 1月～1996年 1月, 雲仙岳測候所)
 Fig. 3 Height of steam emitted from the dome area, ando height of ash cloud from pyroclastic flows, January 1990 ~ January 1996.